

第2号様式（第12条関係）

令和2年度第2回大和市街づくり推進会議 会議要旨

- 1 日時 令和3年3月5日（金）
- 2 場所 書面開催
- 3 出席者 10名
- 4 傍聴人数 書面開催のため傍聴なし
- 5 議題
 - （1）社会資本総合整備計画 下福田地区の住宅市街地整備 事後評価について
 - （2）社会資本総合整備計画 安心安全な住環境を推進するためのまちづくり 事後評価について
 - （3）来年度の大和市街づくり賞について
- 6 その他

会議資料

- ① 次第
- ②

資料1

 議題説明資料
- ③

資料2

 下福田地区の住宅市街地整備 事後評価書
- ④

資料3

 安心安全な住環境を推進するためのまちづくり 事後評価書
- ⑤

資料4

 イラストレーションオーダーリスト

■令和2年度 第2回 大和市街づくり推進会議 会議録■

- [会議名称] 令和2年度 第2回 大和市街づくり推進会議
[開催日時] 令和3年3月5日(金)
[開催場所] 書面開催
[出席委員] 10名(欠席:1名)
[出席] 杉崎 和久/黒石 いずみ/河村 奨/菅 孝能/江村 郁子/蓮沼 聡紀/
星野 澄佳/山田 俊明/須賀 良二/宇津木 朋子
[欠席] 松本 久美
[事務局] 6名(街づくり計画部長、街づくり推進課長、街づくり推進係4名)
[担当課] 街づくり計画部 街づくり推進課 Tel. 046-260-5483
[傍聴者] 書面開催のため傍聴なし

I. 会議次第

1. 議題

- (1) 社会資本総合整備計画 下福田地区の住宅市街地整備 事後評価について
- (2) 社会資本総合整備計画 安心安全な住環境を推進するためのまちづくり 事後評価について
- (3) 来年度の大和市街づくり賞について

II. 会議要旨

1. 議題

- (1) 社会資本総合整備計画 下福田地区の住宅市街地整備 事後評価について
- (2) 社会資本総合整備計画 安心安全な住環境を推進するためのまちづくり 事後評価について
- (3) 来年度の大和市街づくり賞について

質疑応答(○…委員 ▼…市)

-
- (1) 社会資本総合整備計画 下福田地区の住宅市街地整備 事後評価について

1. 「下福田地区の住宅市街地整備 事後評価書」国へ提出について

承認10名、否認0名

【意見】

- 事後評価書の3. 特記事項に、(参考)として「R3.1.31の件数39件」等、記入した方が良い。
- 適切に表現されている。
- 指標や目標値の妥当性について、前回の委員会で意見が上がったと思うが、それ以外の意見は、事後評価書の差分要因や特記事項に概ね反映されていると判断する。
- 2014(H26)、2015(H27)の着工件数も載せるべきだと思う。
- 本件に限ったことではないが、西暦を併記してほしい。

【質疑】

○事業費 1 2 4 7 百万円の原資内訳を教えてください。

▼国費 1 1 3 百万円、市費 2 3 5 百万円、公共施設管理者負担金 2 3 百万円、保留地処分金 8 7 5 百万円である。

(2) 社会資本総合整備計画 安心安全な住環境を推進するためのまちづくり 事後評価について

1. 「安心安全な住環境を推進するためのまちづくり 事後評価書」国への提出について
承認 1 0 名、否認 0 名

【意見】

○「目標達成状況 2 コミバス利用者数」に、利用者増加の原因として、「バス停を増やした」といったことがあれば、要因に記入した方が良い。

○地域特性に照らした表現がなされている。

○もう一つの事後評価同様、指標や目標値の妥当性については議論があると思うが、再度、指標や目標値と差分要因欄の記述を合わせて見ると、達成状況が良く分かる評価結果になっている。

【質疑】

○事業費 1 6 8 3 百万円の原資内訳について教えてください。

▼国費 6 3 百万円、市費 1 2 6 百万円、保留地処分金 1 4 9 0 百万円、雑収入 4 百万円である。

(3) 来年度の大和市街づくり賞について

- 1-1 事業スケジュールについて

【意見】

○事例募集期間が 9 月、1 0 月の二か月間では短い。募集期間中に、まちづくり学校等によるセミナー、シンポジウムなどを行い、「居場所」についての PR や意見交換を行って、関心を盛り上げる必要がある。

○新型コロナでスケジュールが狂わないと良い。

○平成 2 9 年度の街づくり賞選考時のスケジュールと同等なので、これで良いと思う。

○多様な事例を集めるためには、既存の方法（市広報誌・掲示板へのポスター掲示、市 HP への掲載、公共施設へのチラシ配布）に加えて、工夫をした周知が必要だが大丈夫か。

○コロナの収束がまだ見込めない中なので、オンラインの開催・選考を考えるべきではないか。対象を Instagram の投稿（写真）に限るなどの検討が必要だと思う。

【質疑】

○5 月頃開催概要決定とあるが、開催の細部内容が決まり募集要綱発表により、募集が始まるのは、何月を想定しているのか。

▼5 月頃に開催予定の令和 3 年度第 1 回街づくり推進会議にて開催概要を提示し、事例募集の案内は、7 月上旬に開始する予定だ。

○コロナ情勢下における変更を見込んだスケジュールはどのようになるか。

▼感染拡大状況により、街づくり推進会議の開催や選考は、書面やオンラインを視野に入れながら、ご提示したスケジュールで進めていきたいと考えている。

1-2 テーマについて

【意見】

- 「好きな場所」、「特別な空間」、「居心地良い場所」・・・色々あって良いと思うが、各人の捉え方が違うところに意味がある。そのため「居場所とは何」というシンポジウムや円卓会議などを複数回、小学生からお年寄りまで様々な階層の人たちがおしゃべりする「しゃべり場」を開催して、居場所の多様性を確認していくことが大事だと思う。
- サブタイトル案として「居場所 わたしがおススメする場所」を提案する。
- サブタイトル案は、「アナザースペース」、「アナザーポイント」である。
- 「孫をつれて、じじとばばが行ける場所」、「たまには（老）夫婦で寄りたい場所」、「大きく深呼吸できる場所」をサブタイトルにしたらどうか。
- コロナ禍において、ご自宅のお庭に、ベンチやテーブルを配したお宅を拝見することがあり、そういったものが、ここで挙げられている居場所になるかとイメージした。若い世代においては、自宅の閉じられた空間（ZOOMやMeetの適した環境）かもしれない。広い通りに面したどこかのお宅や、緑地公園も考えられる。テーマ設定について少しお話（雑談のような議論）できると、提案しやすくなる。
- 「居場所」は大和市のトレンドなのか。街づくりは、「居場所」づくりともいえるのではないか。そう考えると、これまでの街づくり賞の選定は、「居場所」の発掘であり、「居場所」の新たな創造の芽になる。今回は、シリウス等だけが居場所ということではなく、街にある身近な居場所を見つけて教えてください、応募してくださいということになるのではないか。そこで、思い付きのサブタイトル案は、「わたしの空間」「いつまでもいたいところ」「心とからだのお休み処」だ。
- 個人としての心地よい空間だけではなく、多様な人たちとの出会いの場、活動を生み出す場といった意味を含めることが大事だと思う。
- とてもいいテーマだと思う。サブタイトル案として、「だれもがウェルカム：みんなの居場所」を提案する。
- サブタイトル案は、「ほっとスポット、ほっと空間」だ。（「ほっとする、HOTな」という意味を込めている。）「1人じゃない→みんなでやれる」というイメージが伝わるのが良い。
- 募集するのは、場所、建物、公共施設、店、それとも活動やものごとか。或いはこれらを切りとった写真なのか。どこにフォーカスするかで決まってくると思うが、現状よくわからない。

【質疑】

- なぜ「居場所」が大きなテーマになったのか背景の説明してほしい。
- ▼令和元年度第4回街づくり推進会議にて、「居場所」を街づくり賞のテーマとしてご提示いただいた。

2-1 記念品について

【意見】

- 「賞」という名はふさわしくないと思う。サンプルは固いイメージ、居場所にふさわしくない。

- 居場所は個人的なものでもあるので、公開されて場所を特定されることを好まない人もいる。
- たった4件しか賞をあげないのか。「居場所事例集」のようなものを作成することで、顕賞していく方法も考えられる。
 - デザインサンプル③が良い。
 - 予算的にデザインサンプル③又は④だと思う。
 - 机上に飾ってもらう想定ならツイタテ式のデザインサンプル③、外部に付けてもらうならデザインサンプル④だと思う。
 - ご迷惑にならないもの、素敵なもの、馴染むもの、住居表示と並べて違和感のないものがよいと思う。デザイン例を添付する。景観に合わせて、色は、青系、緑系、エンジ系から選べると良い。
 - これまでの街づくり賞受賞事例を見ると、プレートを取り付けることができないものもあり、受賞者がプレート又は楯を選べると良い。
 - 居場所の中には賃貸物件である場合も想定されるので、外装部に固定するだけでなく、盾など室内に展示するようなことも可能にするものにした方がいいのではないかと。(サンプル④に近い。)
 - デザインサンプル①がかっこいいと思う。イギリスでも歴史的建造物に「ブループレート」をつけている。
 - デザインサンプル①のような重みのあるものが良いと思う。
 - 外壁に固定できるものが良い。デザインサンプルの①または②がそれにあたりそうだ。サイズが15cm×5cmと小さめなので、②のようにシンプルなものでも十分かと思う。質感にこだわるべきだ。

【質疑】

- 応募者にあげる賞なのか、居場所（その場所の所有者、管理者は応募者と違う。）に対してあげる賞なのか、居場所で活動している、使用している人たちにあげる賞なのか。
- ▼平成29年度街づくり賞では、所有者、管理者へ賞状と記念品、応募者へ賞状をお渡ししている。今回も、所有者、管理者へ記念品をお渡しする想定をしているが、皆様からいただいたご意見を踏まえ検討する。

3-1 イメージ画像について

【意見】

- 「居場所」のイメージを限定していない方が良いと思う。一人一人違うことに意義があります。要は大和のまちのあちらこちらに市民が好きだ、大切だ、という場所が沢山あることを市民全体で認識することが大切だ。募集ポスター、チラシも例えば別添のように、39人のイラストレーターがそれぞれ考える「自分の居場所」を表現して、その全体を示して、市民に考えてもらう、自分の居場所を再認識してもえると良いと思う。
- 「POPな建物」、「家族」、「ペット」などをイメージする。
- 市内8つの駅を感じさせるイメージが良いと思う。小さな公園、ちょっとした森、書店のある風景をイメージする。

- 一つのイメージではないので、意見が述べにくい。あまり規定しないで、自由に応募していただけるには、どうしたらよいか。多様な方の居場所を受け入れることを配慮するには、複数のせることが必要かもしれない。
- シリウスを居場所の代表として、出城の中央林間図書館、高座渋谷図書館がある図書館城下町、これまでの街づくり賞に選定された代表的な美しい建築物、美しい街並み、公園などの居場所が点在する城下町、そんなイメージのデフォルメされた大和市の街並みイラスト、俯瞰イラストはどうかと思う。
- イラストだけでなく、作成されたイラストを使ったポスターやチラシも外部発注（プロがよい）に発注して下さい。
- その地域の場所名を具体的に入れたものになると親しみが増すと思う。
- 老若男女子供の笑顔を集めたようなものはどうか。居場所となる場所は自然と笑みがこぼれる場だと思う。
- 図書館、カフェ、公園、学校など、くつろげる場所、座っていただける場所をイメージする。

3-2 イラストレーターについて

【意見】

- 自分の身の回りの日常生活空間で「心落ち着く」「居心地良い」「好きだ」という空間・場・行為などを描き、大和市の特定の場所を想起させない描き方がよい。
- イラストレーターAさんのイラストがわかりやすい。
- イラストレーターAさんのイラストがイメージに合っている。
- イラストレーターBさん、イラストレーターCさんがよい。
- 手法として、この選択肢しかないのか。具体的な絵がないと選択するのが難しいと思うので、イラストレーターの方にコンペに参加いただくなどすると良い。
- イラストレーターオーダーリストの各イラストレーターの作品は一部なのかもしれないが、人物や動物のイラストを主体に描かれている方よりも、街並みのイラストも描かれている方、例えば、イラストレーターDさん、イラストレーターEさんのイラストを期待したい。
- イラストレーター選考について意見はありません。また、本会議ではこのような詳細なことではなく、大和市の街づくり賞のあるべき姿、そのための仕組み等に関する議論を期待したい。
- イラストレーターとして地域の子供達に学校で描いてもらった絵を使ってはどうか。
- イラストレーターFさんのベンチに座っているイラスト等、誰かにとっての特別な居場所が表現されている。
- そもそも論で恐縮だが、デザイナーが必要で、どのイラストにするかは、デザインの中で必要に応じて考える話だ。イラストが不要なこと、安価なストックフォトイラストで済むことも多いと思う。

以上